

ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）2018

本学の建学精神である『保健衛生の学びを基に科学的思考のできる女性の育成』を理解し、本学の課程で、62単位を修得（必修等の条件を充たした上）し、次のような能力・資質を備え、最終的に健康社会への貢献意識を確立した人物に学位を授与します。

1. 教養・倫理観（知性を備えた心豊かな女性を目指すための教養と倫理観を身につけている。）
 - ・ 科学的思考力を身につける。
（物事に対し、情緒に流されることなく、冷静に考えることができる。）
 - ・ 自律性を身につける。
（自分の行動に責任を持ち、自らの設定した目標を達成するために積極的に取り組むことができる。）
2. 問題解決総合力（健全な社会を維持するために、種々の問題を解決するために必要な力を身につけている。）
 - ・ 科学的思考力を多角的に活用できる力を身につける。
（課題に対し、原因を科学的に分析し、多角的な視点から情報を収集し、最善策を打ち立てる事ができる。）
 - ・ コミュニケーション力を身につける。
（多様性・協働性を重んじ、相手を尊重し、行動することができる。）
3. 専門基礎力（向学心の持てる学びの分野及び職業人として活躍するための専門分野において、自らの能力を発揮するための知識・技術等を身につけている。）
 - ・ 専門的知識・技術の理解をする。
（専門知識・技術を基礎から理解することができる。）
 - ・ 強化・発展させた専門的知識・技術をもつ。
（専門知識・技術を演習・実習・実験をとおして深く、理解し、説明することができる。）
4. 実践応用力（専門分野をとおして、社会に貢献しようとする意識および力を身につけている。）
 - ・ 社会状況に応じ、専門的知識・技術を活用する力を身につける。
（専門知識・技術を学外実習等で臨機応変に行動する事ができる。）
 - ・ 社会的貢献を自覚し、行動できる力を身につける。
（自らの生活の場で社会への寄与を意識して行動することができる。）

★各学科・専攻コースのディプロマ・ポリシーは具現化して、別に示す。

各学科・専攻・コース別教育目標の具現化（ディプロマポリシー）2018

愛知みずほ大学短期大学部

生活学科				現代幼児教育学科
養護教諭コース	オフィス総合コース	食物栄養専攻	子ども生活専攻	
<p>1. 教養・倫理観</p> <ul style="list-style-type: none"> 科学的思考力 <p>物事に対し、情緒に流されることなく、冷静に考えることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 自律性 <p>心身の健康の保持増進に関する基礎知識を身につけ、自分の行動に責任を持ち、自らの設定した目標を達成するために積極的に取り組むことができる。</p> <p>2. 問題解決総合力</p> <ul style="list-style-type: none"> 科学的思考力の活用 <p>養護教諭として必要な知識や技術を活用し、心身の健康保持や生活に関する課題に対し、原因を科学的に分析し、社会資源を活用する等、多角的な視点から最善策を導き出すことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> コミュニケーション力 <p>多様性・協働性を重んじ、自分の思いや考えを的確に表現・発信するとともに、相手の立場を尊重した行動をとることができる。</p> <p>3. 専門基礎力</p> <ul style="list-style-type: none"> 専門的知識・技術の理解 <p>子どもの心身の健康・安全等、学校保健、学校安全に関する知識・技術を理解し、説明することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 専門的知識・技術の強化・発展 <p>講義等で得られた専門知識・技術を、演習・実習等とおしてさらに深く理解し、養護教諭として果たす役割の視点から、必要な専門力を説明することができる。</p> <p>4. 実践応用力</p> <ul style="list-style-type: none"> 専門的知識・技術の活用 <p>学外実習において、習得した知識・技術を応用して、子どもの心身の健康や安全意識を育てるための支援ができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 社会的貢献性 <p>総合的に子どもを見る力を身につけ、社会的な課題となっている子どもの健康問題を主軸とした社会への寄与を意識して行動することができる。</p>	<p>1. 教養・倫理観</p> <ul style="list-style-type: none"> 科学的思考力 <p>物事に対し、情緒に流されることなく、冷静に考えることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 自律性 <p>心身の健康の保持増進に関する基礎知識を身につけ、自分の行動に責任を持ち、自らの設定した目標を達成するために積極的に取り組むことができる。</p> <p>2. 問題解決総合力</p> <ul style="list-style-type: none"> 科学的思考力の活用 <p>必要な知識や技術を活用し、人間の命や生活に関する課題に対し、原因を科学的に分析し、社会資源を活用する等、多角的な視点から最善策を導き出すことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> コミュニケーション力 <p>多様性・協働性を重んじ、自分の思いや考えを的確に表現・発信するとともに、相手の立場を尊重した行動をとることができる。</p> <p>3. 専門基礎力</p> <ul style="list-style-type: none"> 専門的知識・技術の理解 <p>ビジネスに求められる専門知識・技術について理解し、自ら設定した目標に関し基礎となる力について説明することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 専門的知識・技術の強化・発展 <p>講義で得られた専門知識・技術を、様々な演習・実習等とおしてさらに深く実践し、ビジネスに求められる専門的な技能としてプレゼンテーションできる。</p> <p>4. 実践応用力</p> <ul style="list-style-type: none"> 専門的知識・技術の活用 <p>インターンシップにおいて、習得した知識・技術を応用して、臨機応変に行動することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 社会的貢献性 <p>自らの生活の場で、社会的な課題となっている健康問題を主軸とした社会への寄与を意識して行動することができる。</p>	<p>1. 教養・倫理観</p> <ul style="list-style-type: none"> 科学的思考力 <p>物事に対し、情緒に流されることなく、冷静に考えることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 自律性 <p>心身の健康の保持増進に関する基礎知識を身につけ、自分の行動に責任を持ち、自らの設定した目標を達成するために積極的に取り組むことができる。</p> <p>2. 問題解決総合力</p> <ul style="list-style-type: none"> 科学的思考力の活用 <p>栄養士として必要な知識や技術を活用し、心身の健康保持や食生活に関する課題に対し、原因を科学的に分析し、社会資源を活用する等、多角的な視点から最善策を導き出すことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> コミュニケーション力 <p>多様性・協働性を重んじ、自分の思いや考えを的確に表現・発信するとともに、チームワークを大切にし、周囲と良好なコミュニケーションをとることができる。</p> <p>3. 専門基礎力</p> <ul style="list-style-type: none"> 専門的知識・技術の理解 <p>栄養士として必要な専門的知識・技術を理解し、様々な立場の人々に応じた献立および食事形態を提案することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 専門的知識・技術の強化・発展 <p>講義等で得られた専門知識・技術を、演習・実習・実験等とおしてさらに深く理解し、栄養士として、必要な専門力を説明することができる。</p> <p>4. 実践応用力</p> <ul style="list-style-type: none"> 専門的知識・技術の活用 <p>学外実習において、習得した知識・技術を応用して、集団や個人の栄養に関する支援ができると共に臨機応変に行動することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 社会的貢献性 <p>個々人に応じた健康の保持増進の理解と応用できる力を活用して、健康社会の発展に寄与する行動をとることができる。</p>	<p>1. 教養・倫理観</p> <ul style="list-style-type: none"> 科学的思考力 <p>物事に対し、情緒に流されることなく、冷静に考えることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 自律性 <p>心身の健康の保持増進に関する基礎知識を身につけ、自分の行動に責任を持ち、自らの設定した目標を達成するために積極的に取り組むことができる。</p> <p>2. 問題解決総合力</p> <ul style="list-style-type: none"> 科学的思考力の活用 <p>保育士及び幼稚園教諭として必要な知識や技術を活用し、子どもの心身の健康保持や生活に関する課題に対し、原因を科学的に分析し、社会資源を活用する等、多角的な視点から最善策を導き出すことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> コミュニケーション力 <p>多様性・協働性を重んじ、自分の思いや考えを的確に表現・発信するとともに、チームワークを大切にし、周囲と良好なコミュニケーションをとることができる。</p> <p>3. 専門基礎力</p> <ul style="list-style-type: none"> 専門的知識・技術の理解 <p>保育・幼児教育についての専門的知識・技術を基礎として、子どもの視点に立った環境構成を構築し、一人ひとりに応じた支援を説明することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 専門的知識・技術の強化・発展 <p>講義等で得られた専門知識・技術を、様々な演習・実習等とおしてさらに深く理解し、保育士及び幼稚園教諭として、必要な専門力を説明することができる。</p> <p>4. 実践応用力</p> <ul style="list-style-type: none"> 専門的知識・技術の活用 <p>学外実習において、習得した知識・技術を応用して、子どもを取り巻くさまざまな課題に対して、適切に対応することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 社会的貢献性 <p>保育・幼児教育の専門性を活かし、社会的な課題となっている子どもの諸問題を主軸とした社会への寄与を意識して行動することができる。</p>	